



センターTOPICS



令和5年8月23日

弟島オガサワラグワの保全

弟島には、オガサワラグワが唯一天然更新できる環境があります。しかし、実生苗は発生するものの、ネズミによる食害により、実生苗が食害され更新に支障が出ています。保全センターでは、東京都レンジャーと協力し、弟島のオガサワラグワの保全に取り組んでいます。

今回は、ネズミを駆除するために設置したベイトステーションの殺鼠剤の入替えや、ネズミの食害から守るためのネットのメンテナンスを実施しました。残念ながら、ネズミの食害にあったと思われる実生苗もありました。

このほかの取り組みとして、弟島北側の孫島に外来種のシマグワがあり、そこから飛来したシマグワの花粉がオガサワラグワと交配してハイブリッドの実生が発生しているため、それを減らすために、孫島のシマグワの駆除にも同時に取り組んでいます。



オガサワラグワの実生苗



食害されたオガサワラグワ



ベイトステーションのメンテナンス



ネットで保護したオガサワラグワ